

No.735 February 2018

ASAHIMACHI

Public Relations

の 広報 あさひまち

2018

2

No.735

寒さでおいしく…季節の伝統菓子
(凍み餅づくり／水本)

町産マスカットベリーA種 100%使用

朝日町ワイン「スパークリング・ルージュ（赤）」デビュー

2月1日
販売開始



テイasting発表会で、できたての「スパークリング・ルージュ」を楽しむ関係者（1月31日）

2月1日、朝日町ワインから新たな赤スパークリング（炭酸入り）ワイン、「スパークリング・ルージュ」がデビューしました。

日本ワインコンクール金賞受賞、伊勢志摩サミットのランチにも採用された赤ワインの原料「町産マスカットベリーA種」を100パーセント使用。黒を基調としたラベルには残雪に輝く朝日連峰の山並みが描かれ、高級感のあるデザインとなっています。同社は、県の「食産業王国やまがた推進事業」と町の補助金事業より採択を受け、平成28年度末にイタリア製の炭酸ガス充てん装置を導入。昨年5月1日デビューの「朝日シールドSec」に続く待望の新商品です。

1月31日に行われた試飲発表会には、町、県および販売関係者など約40人が出席。県内ソムリエ代表でシニア

▼問合せ先
(有) 朝日町ワイン

☎0237・68・2611

ソムリエとして活躍している久松茂氏は「熟した果実のような香りが弾け、渋味・甘さ・酸味のバランスが良好」と高く評価しました。

「数年前から販売店等より要望はあったが、原料の確保や従来の炭酸ガス充てん方式の技術的課題により着手できずにいた。この度最新設備の導入とブドウ生産者の方々のご協力により、念願の赤スパークリングワインを発表できたことに感謝する」と朝日町ワインの近衛秀敏営業部長兼工場長。

「スパークリング・ルージュ」は750ミリリットル瓶で3000本を出荷。既に量販店等から問合せが相次ぎ完売状態で、5月中旬以降に再出荷を予定しています。

目次 ◎ CONTENTS

- P2 町長歳時記
- P3 Pick Up News
朝日町ワイン「スパークリング・ルージュ（赤）」デビュー
- P4 特集
自宅のできる「健康づくり」
- P10 町政スポット
・雪下ろし有償ボランティア普及モデル事業
・朝日町豪雪対策本部が設置されました
・町税等の滞納処分に「タイヤロック」を導入します ほか
- P12 まちレポ
・Asahi 自然観スキー場まつり
・凍み餅づくり体験ツアー
・みんなで味噌づくり講座
・朝日町高齢者福祉大会 ほか
- P14 住人十色
- P15 角田流獅子踊りのふるさとを訪ねて
- P16 健康あさひるばんざい、朝日町エコミュージアムサテライト散策、それいけ協力隊とウサビ、町立図書館コーナー
- P18 桃色ウサビの刺繍ワッペンが登場、各種スポーツ大会の入賞結果
- P19 戸籍のまど、となりのリンゴさん
- P20 色とりどりの団子木飾り

表紙の写真



2月4日、町エコミュージアム案内人の会主催の「凍み餅づくり体験ツアー」が行われました。今回訪問した「朝日北の原食品」は、旧水本小の利活用事業として始まり、現地のお母さん方で運営されています。板状に切られた凍み餅を紐で素早くまとめていく手際はまさに職人技。軒先に凍み餅がズラリと並び風景も圧巻でした。（12頁に関連記事）

町長歳時記 （138）

朝日町が持つ「地方の可能性」 ～主体的な働き方や つながりのある暮らし方～

「自分の仕事が、はたして社会の役にたっているのだろうか」また、「主体的に社会と関わっている実感がほしい」このように感じている都会の若者が、自分の主体性を発揮できる場、また生きがいを実感できる場として、地方に目を向け始めています。

人間は人と人とのつながりの中にあって初めて、自分の存在意義を認識します。そして「誰かのためにになっている」そう実感できた時、本当の生きがいを感じ、幸福を感じることができます。しかしながら現代の都会では、社会とのつながりの希薄さによって、主体性を見失ってしまう若者が増えてきています。

一方、一人ひとりが地域の主体となり、その行動や活動が、直接地域に暮らす人々の生活に、より直結している状況にあるのが朝日町の現状であります。それ故に一人ひとりの生きる力が、すなわち町の力となり、町の姿となるのです。

このように、主体的な働き方やつながりのある暮らし方ができる場としての、朝日町が持つ「地方の可能性」を、現代の若者たちは求め始めています。

現在もなお、日本全体で少子高齢化・人口減少が進行しています。さらに、急速に複雑さを増している高度情報化社会や、人口知能の爆発的進展に伴い、社会そのものが全く新しい時代に突入しようとしています。そのような時代であればなおのこと、朝日町においても、一人ひとりが地域の主体となり、地域の力となるよう、この町に住む私たち自身の新しい挑戦が必要となります。

誰もが夢と希望を抱き、前向きにやりたいことに挑戦し、生き生きと活躍することができる、そんな町の実現を目指し、新たなチャレンジの伝統と一緒に築いてまいりましょう。

朝日町長 鈴木浩孝



第1話： 「準備体操」 忘れずに



POINT!

部屋を適度に
温めてから始めないとね



だーん...

朝日町PRキャラクター
桃色ウサビ

とある
冬の昼下がり——

特 集

自宅でできる「健康づくり」

冬こそ、運動。

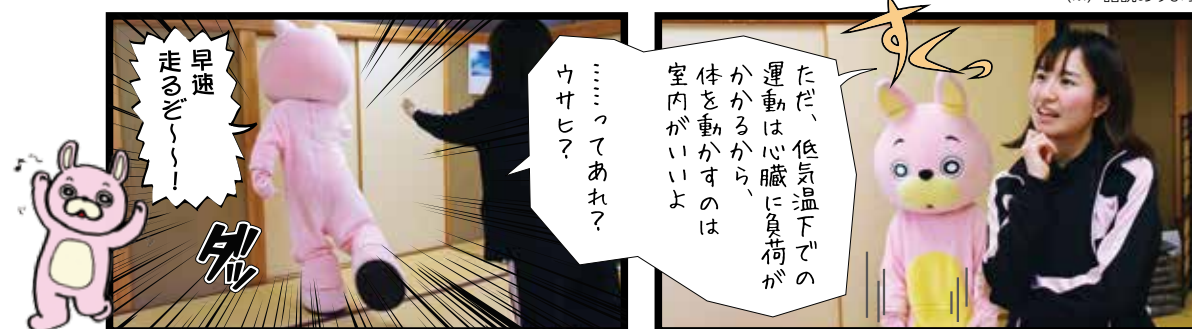


雪下ろし前にもオススメ!
準備体操のやり方

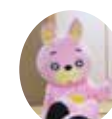
- まずはじめに...
- ◆寒くない程度に室温調節
プラス着膨れしない動きやすい服装で
 - ◆自分のペースでゆっくり伸ばす
体がほぐれてくるのを感じます



そんなあなたに朗報です
気温が低い方が体温維持のために
より多くのエネルギーが必要で、
実は冬こそ運動で「やせやすい」
って知ってた? ※



【登場人物紹介】



桃色ウサビ



みーちゃん

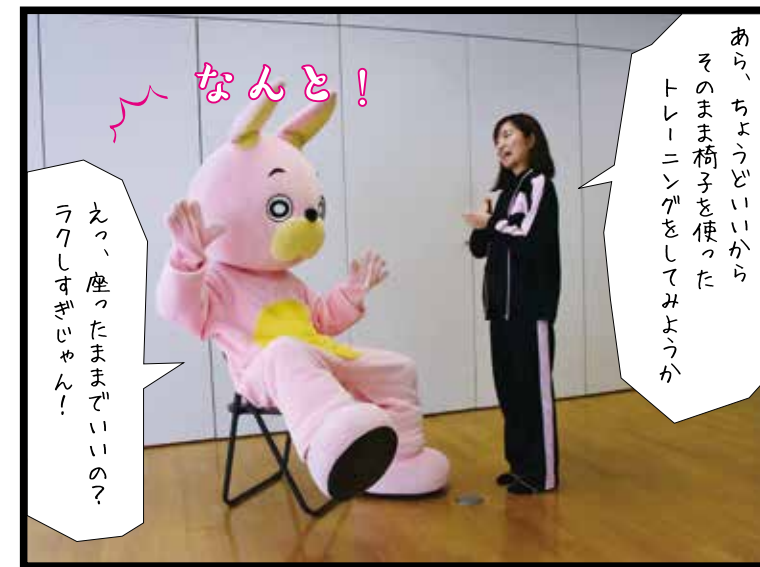


しんゆうくん

雪や寒さでつい家に引きこもりがちになるこの季節。しかしこうした慢性的な運動不足は、筋力の低下や肥満などにつながってしまいます。ここまで読んで「ドキッ」としたあなた。ウサビと一緒に、室内でできる健康づくりに挑戦してみませんか。

運動を行う際の 注意点

- ①「痛い」「苦しい」は、そこでSTOP
やりにくかったり、痛い、苦しい場合はそこでストップ。努力と無茶は紙一重です。
- ②呼吸を止めない（鼻から吸って、口から吐く）
運動中に呼吸を止めると、血圧が上がって体調を崩すおそれがあります。注意しましょう！
- ③適度に休憩を取りながら
体が冷えないように汗を拭き、水分補給を。
※持病のある方は、かかりつけ医に相談してください。



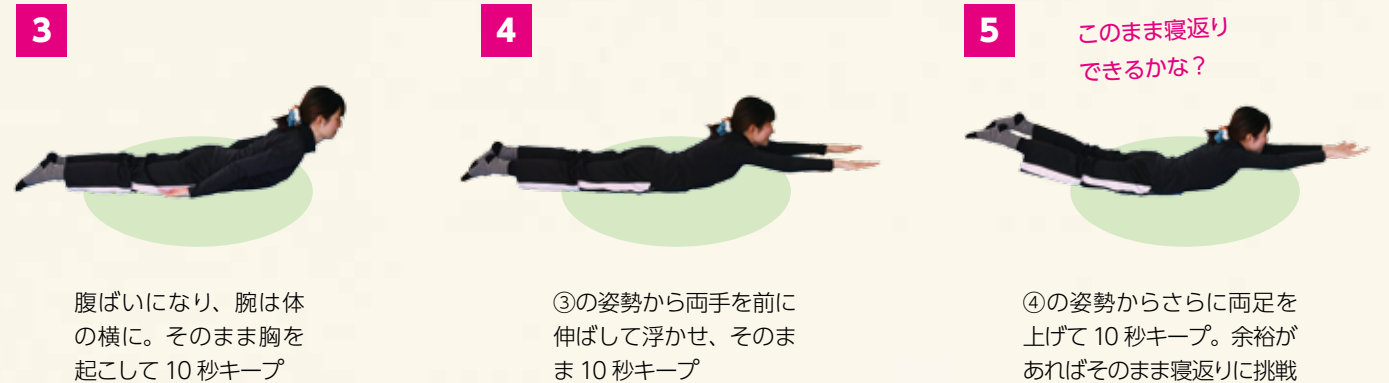
第2話： 座って、寝て、「室内運動」



布団の上でゴロ寝しながら 床でできる運動

まずはじめに…

- ◆床に敷き物を用意
座布団や布団、マットを準備
- ◆3セットを基本に繰り返す
少し汗ばむ程度がベスト



テレビを見ながらできる 椅子を使った運動

まずはじめに…

- ◆正しい姿勢で座りましょう
深く腰掛け、背をピンと伸ばす
- ◆3セットを基本に繰り返す
少し汗ばむ程度がベスト



番外編① 日常生活ですぐに実践できる ながら運動のススメ

ミズノ(株)・ミズノスポーツ(株) 発行・監修
「ながら運動100」より抜粋参考



★洗面所で



肘を肩の高さまで上げながら
歯を磨く（肩の筋肉強化）

★信号待ちで



太ももを持ち上げて伸ばす
（太ももの前部のストレッチ）

★通勤や職場で



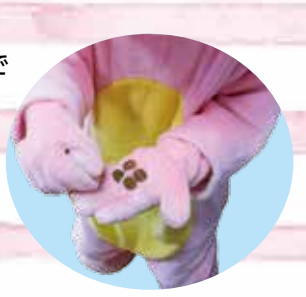
太ももを上げて歩く、つま先
立ちでのぼる（脚の筋肉強化）

★食事中に



利き手と逆の手で食べて
みる（脳の活性化）

★自動販売機で



できるだけ細かいお金（10円
だけ）で支払う（脳の活性化）

番外編③

お家を飛び出して参加してみよう！
健康づくりの教室

ヘルシーライフ教室



健康な体づくりのために、日常で簡単に実践できる運動等を取り入れた教室を実施しています。詳しくはお問合せください。

- ◆実施日…2月20日（火）
- ◆場 所…開発センター ホール
- ◆対 象…どなたでも
- ◆参加費…無料
- ◆申込み…前日まで電話で申込みください
- ◆問合せ…健康福祉課 ☎67-2116

朝日ふれあいスポーツクラブ



総合地域型のスポーツクラブとして、各種プログラムを通年実施しています。無料体験会もありますので、詳しくは下記までお問合せください。

- ◆実施日…毎週 火・水・金曜日（プログラム毎に設定あり）
- ◆場 所…創遊館ワークルーム 3・4
- ◆対 象…小学生以上どなたでも
- ◆料 金…年会費（一般）2,400円
保険料（一般）1,850円
参加料（1回）500円
- ◆問合せ…教育文化課 ☎67-2118

番外編②： 家族よろこぶ体ポカポカレシピ



／ シャキ シャキ！／



◆生姜入り レンコンのきんぴら

材料：レンコン1房、にんじん2分の1本、
生姜 小1かけ、【(A)：醤油・みりん・酒 各
大さじ1、砂糖小さじ1】、鷹の爪1本、酢・
ごま油・白ごま各適量

- 1) レンコンを薄切りにして酢を入れた水にサッとさらしておく。にんじんは細切り、鷹の爪は小さく輪切り、生姜は千切りにする。
- 2) フライパンにごま油をひき、①で切った材料を炒める（中火）。
- 3) しんなりしてきたら（A）を加え、からめるように炒め煮にする。
- 4) 水分がなくなり、照りが出てきたら完成。お好みで白ごまをふる。



レンコン、にんじん、生姜などの根菜には体を温める作用があるんだ。特にレンコンはビタミンCも豊富で、風邪予防や美肌にも効果があるんだって！

／ ふんわりあったか〜／



◆かぼちゃと豆乳の温スムージー

材料：かぼちゃ 50 g、調整豆乳 150 ml、
シナモン少々、砂糖またはハチミツ適量

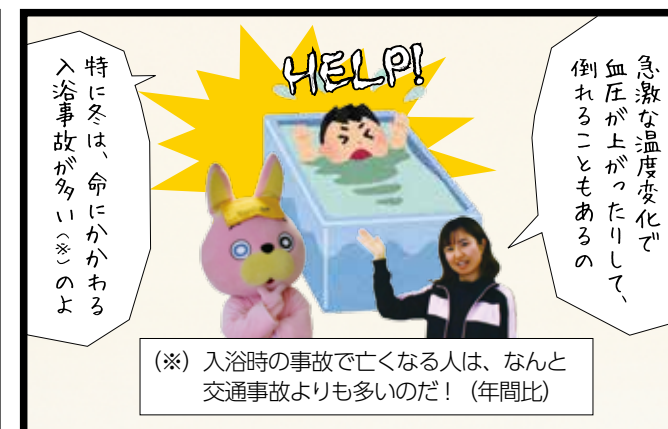
- 1) かぼちゃの皮をむいて小さく切る。ラップをして柔らかくなるまでレンジで加熱（1〜2分）したら、つぶすかミキサーにかける。
- 2) ①のかぼちゃを鍋に入れ、豆乳を少しずつ加えて温める。
- 3) 最後にシナモンをふって完成。お好みで砂糖かハチミツを入れる。



冬至に欠かせない食材で、栄養満点なかぼちゃ。やさしい甘さでおやつにもピッタリだよ



第3話… 「入浴事故」に注意！



1 こんな時は入らない

体調不良、飲酒後、食後（〜1時間）、早朝、（血圧等の）薬服用直後などは入浴を控えます。

2 温度差に注意する

脱衣所との温度差に注意！浴槽のフタを開け、シャワーで浴室を温めておくなどの工夫を。

3 お湯はぬるめの41度（以下）

血圧上昇を防ぐためにも、お湯はぬるめに設定します。

4 入浴の前後は水分補給する

入浴すると発汗や利尿作用が活発に。必ず十分な水分補給を。

5 入浴前にかけ湯をする

足や腰からお湯をかけ、体を温度差に慣らします。

6 家族にひと声かけて入る

家族が頻繁に声がけすることで、異常にも早く気付けます。

7 浴槽のフタを前に置いて半身浴

もしもの時はフタに寄りかかれます。半身浴は心臓への負担を軽くします。

8 あがる時はゆっくりと

急に立つと血圧が下がります。立ちくらみにも注意が必要です。

町税等の滞納処分に「タイヤロック」を導入します

■税務町民課 町民税収納係 ☎67-2107



▲タイヤの一部をタイヤロックで施錠し、サイドミラー等にミラーズロックを取り付けて差し押さえを公示します

町ではこの度、税負担の公平性を確保する対策の一つとして、「タイヤロック（車輪止め）」を導入しました。

これまで町では、再三の催告に応じていただけない滞納者に対し、預貯金や給与等の債権の差し押さえを実施してきました。自主的な納税を促すさらなる手段として、今後は新たに、車両のタイヤに装着して施錠する「タイヤロック」や、差し押さえしていることを表示する「ミラーズロック（公示書）」を取り付け、自動車・軽自動車・バイク等の差し押さえを行います。

これらの差し押さえを受けた際、タイヤロックやミラーズロック等を損壊した場合には、刑法第96条の規定により3年以下の懲役、または250万円以下の罰金に処せられる場合があります。

「一括納付できない」等の事情がある方については、「納税相談」を受け付けておりますので、お早めに税務町民課までお越しください。

期限内に納税していただいている皆さまとの公平性を保つため、町では今後も税滞納の解消に努めていきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

冬の安心安全な生活を確保 雪下ろし有償ボランティア普及モデル事業

■政策推進課 地域振興係 ☎67-2112



実技をまじえた「雪下ろし講習会」で、安全な雪下ろしのやり方を学ぶ有償ボランティア団体のメンバー（1月13日）

町では今年度より2年間、住民共助による雪対策をさらに推進するため、「雪下ろし有償ボランティア普及モデル事業」に取り組みます。

近年、少子高齢化等で人員が不足している地域の除排雪の担い手を確保・育成する目的。「雪下ろし有償ボランティア団体（※1）」の創設・活動を推進するとともに、要支援者世帯（※2）とのマッチングや除排雪作業にかかる費用負担等について支援します。

今年度は「アーガスケ・ボランティア隊／堀茂代表」と「（社）

アップランド／平雅之代表」の2団体が本事業の実施主体として登録。団体メンバーは1月13日に町主催の「雪下ろし講習会」を受講し、実技をまじえて安全帯の正しい着用方法や、道具の使い方について学びました。

今後2団体は町と連携しながら要支援者世帯の除排雪作業を行います。また、町ではこれからも安心して暮らせるまちづくりのために、住民による助け合いの雪対策を推進し、新たな担い手の確保と実態に応じた支援を充実させていきます。

（※1）除排雪作業について、営利企業等による対応が困難、または町が必要と判断した場合に、営利を目的としない範囲で有償によるサービスを提供する（ボランティア）団体

（※2）①町が規定する「雪対策に係る補助金事業」該当世帯
②区長、民生委員等との協議により、支援が適正と判断された世帯（例：所有者が福祉施設等に入居・転出した空き家で、区民共助で管理しているが、高齢化等により除排雪がされず、区長が適正と判断した世帯など）

朝日町豪雪対策本部が設置されました

■総務課 防災係 ☎67-2111



▲緑ヶ丘公園（前田沢）周辺の集雪場（2月8日）

大型寒波の影響により、全国各地で記録的な大雪が続いています。

町内の積雪量も、1月25日正午時点で宮宿地区90センチ、立木地区136センチに達しました。これを受けて、町では同日午後1時に「朝日町豪雪対策本部」を設置。雪に関する様々な情報を収集するとともに、事故や災害の防止に向け、より一層注意を呼びかけることとしています。

町民の皆さんにつきましても、屋根の雪下ろしや除雪作業はもちろん、交通安全、果樹等農作物の管理に十分お気をつけください。また、特に高齢の方や一人暮らし世帯などで、除雪や日常生活で困りの際には、担当の民生児童委員や区長さん、役場政策推進課（☎67-2112）までご相談ください。

りんご海外輸出事業

■農林振興課 農政係 ☎67-2114



台湾の高級百貨店に立ち、町産りんごのおいしさをPRした鈴木町長と、JAおよび生産者の皆さん

平成16年度に開始し、今年で14年目となるりんごの海外輸出。今年度も主要輸出国である台湾のほか、タイやフィリピン、マレーシアなどの東南アジアを中心に、60・02トンの出荷を記録しています。

11月から1月下旬にかけて、今年も鈴木浩幸町長をはじめ生産者や町職員が現地に出行き、試食販売を実施しました。天候不順による品質管理や、数量の確保が難しい年でしたが、現地で店頭に立った農林振興課の菊地早百合主査は「これまで培ってきた町産りんごのブランド力も手伝い、完売が出るほど好調な売れ行きだった。今後とも町のおいしいりんごを多くの方に味わっていただきたい」と振り返ります。

今後も引き続き、生産者・JA・町が一丸となって、町産果物の魅力を国内外にPRしていきます。



▲大豆と米麹、塩を混ぜ合わせる作業
▼仕込んだ味噌は冷蔵所で約半年発酵させる

1/23 農業委員会女性部が初主催 みんなで味噌づくり講座

町農業委員会（女性部）が企画・指導する味噌づくり講座が1月23日、和合地区交流センター友和館で行われ、10人が参加しました。耕作放棄地で育てた大豆の利活用と女性農業委員の地位向上などを目的に初めて開催。参加者は蒸した大豆と米麹、塩を混ぜてミンチにし、1人約10キロの味噌を仕込みました。

講師の1人である高橋道子委員（水本）は「今日仕込んだ味噌は秋口が食べ頃。こうした昔ながらの味噌づくりの文化を通じて、手づくりや農業の良さを伝えられたら嬉しい」と語っていました。



▲大会参加者に声をかける大泉逸郎氏
▼育成指導功労賞を受ける川口氏（右）

1/25 みんなで元気にいきいきと 朝日町高齢者福祉大会

1月25日、朝日町高齢者福祉大会が行われ、町内で活動中の長寿クラブ（26地区）の会員約230人が参加しました。「孫」などのヒット曲で知られる大泉逸郎氏（河北町）による歌謡ショーで賑やかに始まった今大会。続く式典では県老人クラブ育成指導功労賞として川口幸次郎氏（大暮山）をはじめ、6個人が表彰されました。日頃の活動成果を発表する芸能発表では、各クラブが歌や踊りを披露し、年に一度の大会をいきいきと楽しんでいました。



▲お寺の境内で落語を楽しみ…
▼そばの夕食に舌鼓を打つ参加者

1/29 結成2年目「そばを楽しむ会」が主催 落語とそばを楽しむ新年会

「そばを楽しむ会」主催の新年落語会が蓮成寺（西船渡）で行われ、会員とその家族、友人など約50人が参加しました。会では県落語愛好協会の笑風亭間助会長と石々亭註馬氏が登壇。面白おかしい落語を披露し、参加者に初笑いを届けました。また、落語の後は手打ちの10割そばで食事会を楽しみました。今回の新年会を企画した若月秀一会員（西船渡）は、「皆に楽しんでもらえて良かった。機会があればまたやりたい」と笑顔で語っていました。

2/3~4 冬の寒さに負けず 野外活動を体験 ドキドキ探検隊 雪中キャンプ

2月3日～4日、「ドキドキ探検隊達人倶楽部（鈴木直幸代表）」が企画・運営する「雪中キャンプ」が秋葉山交遊館周辺で行われ、北部地区の児童約20人が参加しました。

毎年この時期に開催され、恒例行事となっている冬キャンプ。夕方からの降雨により、残念ながら野外宿泊はできませんでしたが、達人倶楽部の指導を受けながら仲間と協力してテントを張ったり、自炊作業を行った児童たち。冬ならではの雪遊びの楽しさも体験しながら、寒さに負けない体と精神を育みました。



▲指導を受けながらみんなでテント設営
▼楽しいスノーチューブ体験も

ホームページに写真



ホームページに写真



1/28 雪遊びを思う存分満喫 Asahi 自然観スキー場まつり

1月28日にAsahi自然観スノーパークで、朝日町雪まつり事業「スキー場まつり」が開催されました。

会場を昨年リニューアルオープンした「ロッジしらくら」周辺に変更し、より参加しやすくなった今回。小学生以下がリフト料金無料となる「スキー子どもの日（毎週日曜）」に合わせて開催し、各地のスキースポーツ少年団や親子連れなど、多くの来場者で賑わいました。

オープニングセレモニーとして、町PRキャラクター桃色ウサヒとのジャンケン大会が行われたほか、温かい玉こんにゃくのふるまいや、町商工会青年部による手づくりチョコバナナの販売などがありました。

また、雪を楽しむアトラクションが盛りだくさんの当まつり。スキー場ならではのスノーモービル乗車体験やそり滑り、小さなお子さんから参加できる雪上輪投げ大会やストラックアウト（的当て）、助走をつけてチューブに飛び乗るアトラクションなどが行われ、白一面の雪原の中、冬の遊びを存分に満喫していました。

2/4 山形の伝統菓子をおいしく学ぶ 凍み餅づくり体験ツアー

2月4日、朝日町エコミュージアム案内人の会が主催する「凍み餅づくり体験ツアー」が行われ、町内外から約10人が参加しました。

炊いた米を凍らせてから干し、乾いたものを揚げて砂糖醤油にからめて食べる「凍み餅」。山形に伝わる伝統菓子として、近年は都市部でも人気を博しています。町内では現在2事業所で製造を行っていますが、今回は水本地区にある「朝日北の原食品（渡辺薫代表）」を訪問。工房の軒下にずらりと干された凍み餅や製造工程を見学したほか、おいしい調理法の実演、揚げたて凍み餅の試食などがありました。

スライドで作り方を学びながら「昔は残りご飯を集めて冬に仕込み、春の田植えに食べる貴重なおやつだった」「待ちきれなくて下から取って食べた」と、思い出話に花が咲く場面も。参加した鈴木節子さん（元町）は、「上手な作り方が知りたくて、この日を楽しみにしていた。じっくり見て質問でき、参加してよかった」と語りました。また、朝日北の原食品の岡崎久美子さんは「これを機に凍み餅づくりが町内でさらに広がれば嬉しい」と笑顔で話していました。



◀丸森町文化財保護委員の鈴木悦郎氏（右）、光明院の武田宗岳（そうがく）住職（中央）、宗畔院の大江智信（ちしん）住職（左）

◀光明院訪問の様子。武田住職の講話に耳を傾ける参加者
▼修験道の高祖、役小角（えんのおづぬ）が考案し、五穀豊穰、諸病退散を祈願する祈祷の舞「山伏神楽」。大沼大行院より角田へ伝わったとされるが、現在町内および大沼大行院には残っていない



町内2地区（八ッ沼・大谷）に伝承され、県の無形民俗文化財に指定されている「角田流獅子踊り」。その源流を訪ねる現地学習会が1月25日、町立中央公民館主催で行われ、約20人が参加しました。

朝日郷土史研究会の調べによると、「角田流（八ッ沼・大谷）獅子踊り」は、宮城県角田地区（現角田市・丸森町）から伝わったとされています。また、丸森町に伝承される「山伏神楽」は大沼の大行院より伝わったとされており、県をまたいだ交流関係について紐解いてみようというものです。

学習会では丸森町を訪ね、同町文化財保護委員の鈴木悦郎氏より伝承の由来について解説を受けたほか、「山伏神楽」を継承する大内地区の修験寺院「光明院」、大谷に「角田流獅子踊り」を取り入れ

角田流獅子踊りのふるさとを訪ねて

朝日町ふるさと歴史教室

今回の企画に協力した長岡信悦町史編さん専門員は、「宗畔院と大沼大行院とは親戚関係であり、獅子踊りと山伏神楽との文化交流ともいえる交流に大きな影響を与えたと考えられる。大変有意義な勉強会だった」とまとめました。

た白田清安の生家である「宗畔院」の2寺院を訪問し、住職にお話しをうかがいました。

興味深いことは、丸森町の「山伏神楽」、朝日町の「角田流獅子踊り」、共に本家といわれる現地では消滅しているということです。

丸森町では「角田流獅子踊り」に関して、「御法度鹿踊始末書」が残るのみ。これは、江戸時代初期に角田地区外れの村で、獅子踊りの禁止を破ったことへの謝罪文で、残る文献は少ないものの、確かにこの地に獅子踊りの源流があったことを示しています。



▲角田流八ッ沼獅子踊り（右）と大谷獅子踊り（左）。朝日町史（下巻）では、室町時代の天文（1532～55）年間に八ッ沼地区へ、江戸時代後期の文化（1804～18年）年間に大谷地区へ、それぞれ「角田」から「獅子踊り」が伝わったとまとめられている。また、大谷獅子踊りに関する記述では、白田外記家31代にあたる清安（きよやす）が「伊具郡宗呼（畔）院」より婿入りしたことが獅子踊り始まりの大きな要因とされている



◀▲渡辺先生と、ことばの教室で使用する様々な教材

★「ことばの教室」とは…？

ことばの「発音」や「発声」、「聞こえ方」や「話し言葉の文法」などに不安感や困り感のあるお子さんを対象として、一緒に課題の改善を図っていく教室です。

お子さんの個性や状況に合わせた1対1の学習が基本。年度や学期に関係なく保護者の方の要望により指導し、課題が改善した時点で終了となる「通級」の教室です。

町では昭和58年度から設置されており、入れ替わりの変動はありますが、現在幼児から小学生まで15人前後のお子さんに通っています。



「ことばの教室」担当者として 地域の特別支援教育に幅広く貢献

渡辺 正幸 さん (宇津野出身／寒河江市)

1月15日、東京大学で「文部科学大臣優秀教職員表彰式」が開催され、宮宿小学校教諭の渡辺正幸さん（宇津野出身／寒河江市）が表彰を受けました。

「ことばの教室」担当者として18年に渡り指導してきた実績と、その経験を活かした巡回相談や後続教員の育成に尽力してきた功績が認められたものです。

今回は渡辺先生に、「ことばの教室」での普段の活動と指導への想いについてお伺いしました。

町内全校の「ことばの教室」を担当

教職に就いたのが25年前で、「ことばの教室」担当になったのはその7年後、寒河江市内の小学校に勤務している頃です。地元である朝日町および宮宿小学校には平成25年4月から勤務し、町内すべての子どもたちの「ことばに関する悩み」をサポートしています。

小さなうちに課題を発見

教室に通われるお子さんは、先生や知人からの紹介、保育園の年長さんを

対象に年2回行っている「言語検査」がきっかけという子が多いです。検査は、カードに描かれた動物や果物などの名前を答えてもらう簡単なものですが、毎年約1割のお子さんに何らかの「課題」がみられます。

幼児期や早い段階で、こうした「小さな課題」を見つけ、「ことばの指導」を行うのが私の仕事です。

大切なのは話すのが「楽しい」こと

学校や、日常・社会生活に欠かせないコミュニケーション。話し方や発音を指摘されたり、うまく言葉にできなくて詰まったり…、それが続くと「無口」になってしまう子もいるかもしれません。

それを防ぐためにも、私が何より心がけていることは、「ことばの楽しさ」を教えること。ゲームやクイズなど、一緒に遊びながらお話しします。

決まった教科書などはありません。内容も個人で違い、毎回「その子のためだけの授業」です。個々の心の動きを見逃さないようにするのは大変ですが、嬉し

いことに、とても楽しみに通ってくれる子が多いので、やりがいを感じます。

明確なゴールがある唯一の教育現場

理解のある方がほとんどですが、特に親御さんは不安も大きいことでしょう。だからこそ、指導の後に家族そろって笑顔で帰っていただけた時には、この仕事をしていて良かったと心から感じます。

また、教育には終わりや正解がないものですが、ことばの教室には「課題が解決したら終了」という明確なゴールがあります。これも、通常の教育現場ではなかなか得られない経験だと思います。

最後まで評価にふさわしい仕事を

この度すばらしい表彰をいただきましたが、まだそれを胸を張って受け取れるような優秀な実践はできていないと感じています。諸先輩方や関係する皆様のご指導ご鞭撻に感謝し、これから先も10年ほど教師人生は続きますが、より一層気を引き締め、評価にふさわしい仕事ができるように励んでいきます。



私が管理人として働く「ゲストハウス松本亭一農舎(常盤)」が、1月末でオープン1周年を迎えました。記念日には、同僚の水沼祥乃さん企画による「1周年記念ボードゲーム大会」を開催。町内外から多くの方にお越しいただきました。当宿に設置のゲームは、お泊まりの方はもちろん、近所の小・中学生にも人気で、会話が弾む良いアイテムの一つです。

さて、先日(2月4日、東京)で「地域おこし協力隊全国サミット」がありました(下写真)。総務省主催の企画で、全国各地で活動する協力隊が集まり、情報交換などをするイベントです。そこで上映された協力隊紹介映



町地域おこし協力隊と桃色ウサビの「中の人」こと、佐藤恒平まちづくり総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。

「町の外でも、地域おこし」

移住・交流推進員(地域おこし協力隊) **阪野正義** (川西町出身)



像に、出演者の1人として選出されました。撮影では常盤地区の長岡区長はじめ、町内の皆さんにも出演していただきました。映像を見た仲間たちからは「良い町で活動していますね」と、朝日町への関心を持っていただけたようです。

今回は町外での活動をもう少しお話しします。今年度の仕事としては、協力隊向けの研修や交流会、前述のサミットなどへの参加がありました。プライトでは学会での発表や、ゲストハウス経営者仲間や協力隊仲間の訪問、自営業の仲間との交流などで、朝日町や松本亭について紹介してきました。

「朝日町を知らなかった」という声も多いです。でもよく考えたら私たち、都市部以外の自治体は名前すら知らないところが多々ありますよね。しかし、こうして話せば興味を持ってもらえる。では、「どうしたら接点を増やしていけるか」「その興味の種を町の将来の便益につなげるには？」最適解はなかなか見つかりませんが、きっかけがあれば行動あるのみです。「来てみたらやっぱりいい所だね」という未来のファンが一人でも増えますように。



血糖値が気になる!でも、おいしく食べたいあなたに

【平成29年度第10回】
今月の担当…菅井久美子 管理栄養士



皆さんは、毎日の食事をおいしく召し上がっていますか。町の健康診断(平成28年度実施)では、血糖値が高いと判定された方が全体の約54%いました。これは、県の平均45.3%を大きく上回る結果です。血糖値は食事をすると上昇し、健康な人はエネルギーとして消費されますが、消費されずに高血糖の状態が続く病気を「糖尿病」といいます。糖尿病は生活習慣病とも呼ばれ、日々の食事や運動不足などで誰でもかかりうる病気です。

町では今年1月、県内外で活躍する管理栄養士さんを講師に招き、糖尿病に関する教室を行いました。教室では「血糖値は気になるけれど、おいしく食べられるメニュー」を、調理実習を交えて学びました。実習メニューの一つ、「海鮮洋風炊き込みご飯」では、エビやアサリの殻を付けたまま調理・盛り付けを行いました。そうすることで、殻をむきながら、ゆつくり味わって食べることができました。

参加者の方からは「普段食

べる量より少ないのに、お腹いっぱいになった」「おいしくて簡単。家族にも作ってあげたい」などの感想や意見が聞かれました。

今回は、好評だった実習メニューの中から、簡単な「甘酒ミルック」をご紹介します。

「甘酒ミルック」
○材料(2人分)
麹甘酒(ストリートで180ml)、牛乳120ml、キウイ2分の1個
○作り方
①鍋に牛乳と甘酒を入れ、火にかけて温める。
②キウイをすりおろす。
③①をカップに移し、②をかけた完成。

町では他にも、手軽に実践できる健康づくりの教室を、定期的に開催しています。今後もこれらの取り組みを継続し、皆さんの健康が守られるよう応援していきますので、ぜひご参加ください。

▼問合せ先
健康福祉課 健康推進係
☎67・2116



町全体が博物館! 朝日町エコミュージアム サテライト散策



▲エコミュージアム案内人の会「ふるさとミニ紀行 豊龍蔵を訪ねる」今年の開催は2月18日(日)です。

第8回 鈴木酒造

【DATA】宮宿商店街(大町地内)にある、朝日町唯一の老舗酒蔵。月山酒造の「銀嶺月山」や地元銘柄の「豊龍」を醸造する。

庄内松山藩の藩士で、6代目から代々與一郎(よいちろう)を襲名し、上郷組・下郷組の大庄屋を務めた鈴木家。江戸時代中期の7代目與一郎の時代、立木鉾山が盛んになった頃に酒造業を始めました。

大正5年の醸造石高は300石で、昭和初期から「豊龍」の銘柄が登場。昭和47年に西川町の「設楽酒造」、寒河江市の「八幡屋酒造」と共に「月山酒造(株)」を設立しており、「自然乾燥棚田米」等の地元の米を原料とするなど、地域の風土を大切に酒造りを行っています。

鈴木家の屋号「以津美家(いづみや)」は、4代目の鈴木和泉(いずみ)が四ノ沢堰開削に尽力する等の功績があり、和泉の家の者という意味でこうした屋号になったんだって。でも、道具や備品等に㊦の印をつけたため、周辺地域では「マルシメ」という通り名が一般的になったみたいだよ。

案内人のつぶやき



町立図書館新刊案内

「遺訓」

佐藤賢一 著



明治9年。沖田総司の甥で天然理心流の遣い手である芳次郎は、西郷隆盛の警護を命じられる。死闘を重ねるうち、人には力に勝る強さがあることを知る……。最後のサムライたちを描く時代長篇『波』連載に加筆・修正し単行本化。著者は鶴岡市在住。

「だるまちゃんとかまどんちゃん」
「だるまちゃんとかまどんちゃん」
「だるまちゃんとかまどんちゃん」
加古 里子 さく／え



かまどんちゃん、おいしいままごこ料理を作ってくれる女の子。ある日、だるまちゃんが一緒に遊んでいる。だるまちゃん誕生50周年記念として、92歳を迎えようとする著者のシリーズ新作3冊同時刊行。



【ブックテマコーナー】
追悼
歴史・時代小説作家 葉室麟さん 特集

Births

すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
大暮山	川口小冬音	女	靖晃・教子
大谷三	白田光	男	憲彦・未咲
本町	飯野大響	男	意彦・真由美
大町	丸山千穂	女	祐輝・美里
助ノ巻	鈴木涼介	男	豊和・幸恵
大隅	八巻咲良	女	康司・幸
本町	鈴木彩加	女	聡・友子
元町	志藤あづ理	男	裕二・奈津

Marriages

おしあわせに

菅井 健
(大 隅)



菅野 光咲
(寒河江市)

Obituaries

やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
助ノ巻	花山 芳 一	芳 明
大谷五	渡 邊 ふで子	本 人
太郎一	長岡 正 吉	章
栄 町	長岡 ツ ユ	良 一
前田沢	鈴木 チエ子	恵 太
新 宿	熊谷 公 子	祐 一
前田沢	渡 辺 良	良 輔
立 木	阿部 三右門	三智子
真 中	武田 セ イ	征 一
松 程	鈴木 タケヨ	義 巳
栗木沢	遠藤 正 幸	正 好
助ノ巻	阿部 藤 夫	よね子
能 中	鈴木 丈 夫	啓 司
大 町	堀 助 藏	新 一
古 楨	渡 邊 の 丞	勝
松 程	鈴木 一 義	新 一
前田沢	鈴木 チヨエ	吉 浩
古 楨	渡 邊 わせん	薫
松 原	長岡 ね よ	利 光
大谷三	大谷 秀 雄	本 人
平	佐藤 と よ	幸 作
大 町	伊藤 ト子	吉 正

とないのリンゴさん ホリイ (299)



Obituaries

やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
栗木沢	白田 章	稔
栄 町	石黒 定雄	益 雄
前田沢	菅井 富子	誠
送 橋	清野 孝一郎	寛 希

Population

人口と世帯数

●平成30年1月31日 現在
※()内は先月比
人 口 7,072 人 (ー 30)
男 3,493 人 (ー 18)
女 3,579 人 (ー 12)
世帯数 2,460 世帯 (ー 2)
----- 12月～1月中の異動 -----
出生 9人 転入 15人
死亡 32人 転出 22人
(※外国人を含む)

桃色ウサヒの刺繍ワッペンが登場

1月1日より桃色ウサヒの新グッズ「ウサヒワッペン」が登場しました。
開発のきっかけは、お客さまからのリクエスト。ウサヒグッズを多数取り扱う有限会社近江屋（本町）が店舗に設置する「ウサヒへのリクエストボックス」に投書があり、その希望をもとに浅岡刺繍（西町）が製作しました。
同社の技術で表情まで細かく刺繍されたウサヒの図柄は3種類。販売店舗となる「近江屋」「りんご温泉」「Asahi自然観」それぞれにちなんだ色とデザイン（※）になっています。また、裏にアイロン糊が塗付してあるので、簡単に自分の好きな小物に付けてオリジナルグッズにできます。
「サンプルをいくつも挙げてくれた浅岡刺繍さんや、包装パッケージをデ



ザインしてくれたりんご温泉のスタッフさん。皆様のご協力で100%メイドイン朝日町の素敵なワッペンができました」と近江屋の鈴木聡代表。
販売価格は1個880円（税込）で、全3種類を各販売店舗で購入できます。お土産にもぜひどうぞ。
（※）写真右から「近江屋」「りんご温泉」「Asahi自然観」のイメージワッペン。
緑が基調の自然観は、空気が神への参拝ポイント。りんご温泉（倉）は温泉に入ったウサヒとりんご、近江屋（書）はお馴染みの体育座りなど、デザインもユニーク。
桃色ウサヒの写真・イラスト（既存のもの）などの使用は、基本的に無料です。使用申請に関しては、地域や学校、個人などで使用する場合は必要ありませんが、商用での利用をお考えの方は、左記まで申請をお願いします。
▼申請・問合せ先
政策推進課 地域情報係
☎67・2112



各種スポーツ大会の入賞結果

- 第21回朝日町民柔道大会
(12月24日/町民武道館)
◆小学生の部
①若月保歩（6年/西船渡）
②長岡大聖（5年/常盤）
③海野結菜（4年/西町）
④菊地舞（4年/西町）
⑤敢闘賞 佐竹萌（6年/常盤）
⑥海野真穂（3年/西町）
⑦渡辺優（4年/大谷）
◆中学生以上 女子の部
①若月乃朱（3年/西船渡）
②鈴木七海（3年/大谷四）
◆中学生以上 男子の部
①志藤圭介（2年/川通）
②菊地翔悟（3年/夏草）
③堀俊介（2年/中沢）
④阿部風（1年/常盤）
◆町小学生スキー記録会
(1月31日/Asahi自然観スノーパーク)
◆5年男子の部
①滝川壮（宮）記録：23秒2
②菅井遥斗（宮）
③佐藤涼介（大）
④阿部佑太（宮）
⑤千葉寛明（宮）
⑥白田皓聖（大）
◆5年女子の部
①堀光姫（大）記録：26秒4
②設楽みらい（宮）
③成原結愛（宮）
④峯田結羽（宮）
⑤渡辺咲花（宮）
⑥小嶋愛桜（大）
◆6年男子の部
①本間樹真（大）記録：26秒7
②阿部大翔西（宮）
③阿部奏翔（宮）
④細谷慶太郎（宮）
⑤志藤大地（大）
⑥阿部凌太（宮）
◆6年女子の部
①遠藤美咲樹（大）記録：26秒6
②伊藤穂乃花（西）
③神尾美結（宮）
④早坂優希（大）
⑤若月保歩（西）
⑥渡邊紗代（宮）



各部門の優勝者



あさひ保育園
小正月の伝統行事

色とりどりの団子木飾り



1月11日、あさひ保育園で小正月の「団子下げ」が行われました。

元日(大正月)に対して1月15日前後を小正月と呼び、全国各地で様々な正月行事が行われます。東北の一部地域や山形県村山地方では主に、ミズキの木に団子やふなせんべい(鯛や小判、小槌などをかたどった菓子)を下げた「団子木」を飾り、秋の豊作や家内安全、無病息災などを祈願する「団子下げ」を行うのが伝統です。

あさひ保育園では、子どもたちに地域の文化や伝統行事を伝える目的で毎年実施されており、その歴史は町内保育園の統合以前から、長年続いています。

当日は「あさひ家庭教育学級」「祖父母学級」の活動を兼ねて、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に団子づくりにも励んだ園児たち。家族の健康を祈りながら1個1個丁寧に飾り付け、見事に出来上がった色とりどりの団子木飾りに歓声を上げていました。

▲鯛や小判の形の「ふなせんべい」

春夏秋冬
編集後記

寒さに負けず
寒さでおいしく

今月号の特集は、桃色ウサビと健康福祉課の古澤(旧姓:川村)美里さん、山崎眞裕さんを始め、若手職員の方々に協力していただきました。おかげでとても楽しいページになりましたので、ぜひ皆さんも記事を見ながら、ウサビと一緒に「冬こそ運動」を実践してみてください。

紹介しているストレッチは、健康福祉課で実施している「ヘルシーライフ教室(講師協力:山形済生病院健康増進センターめぐみ)」の内容を参考

にしています。簡単そうに見えて実は結構な運動量なので、ご自分のペースで続けてください。

また、表紙では今が最盛期の「凍み餅づくり」を紹介しました。朝日北の原食品の皆さんは、現在4人で年間約25万枚の凍み餅を出荷されていますが、それでも生産が追いつかないほど人気だそうです。山形県売店では、里帰りした際にお土産に買われる方が多いとか。懐かしい故郷のお菓子、大切にしていきたいですね。

村山 彩